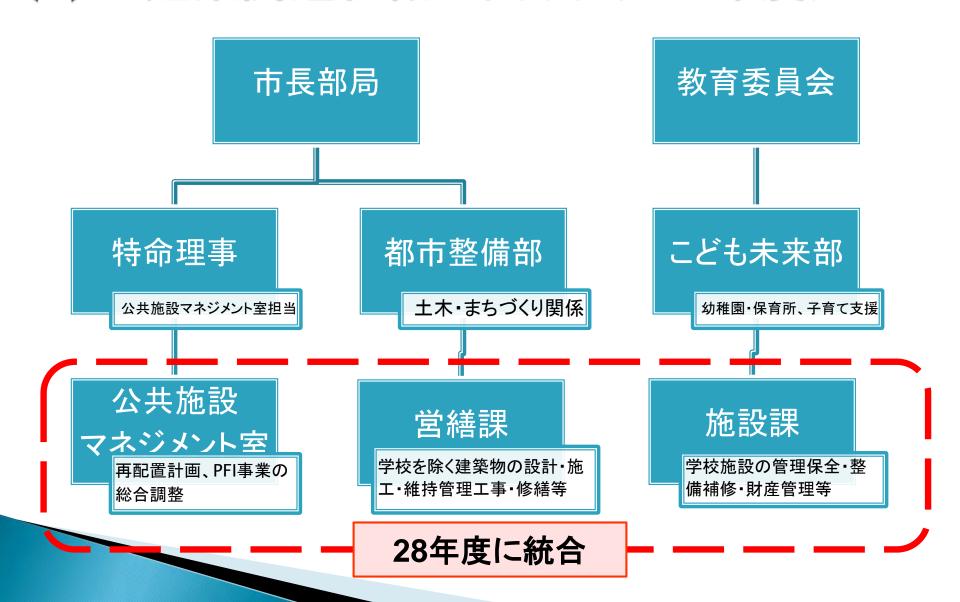
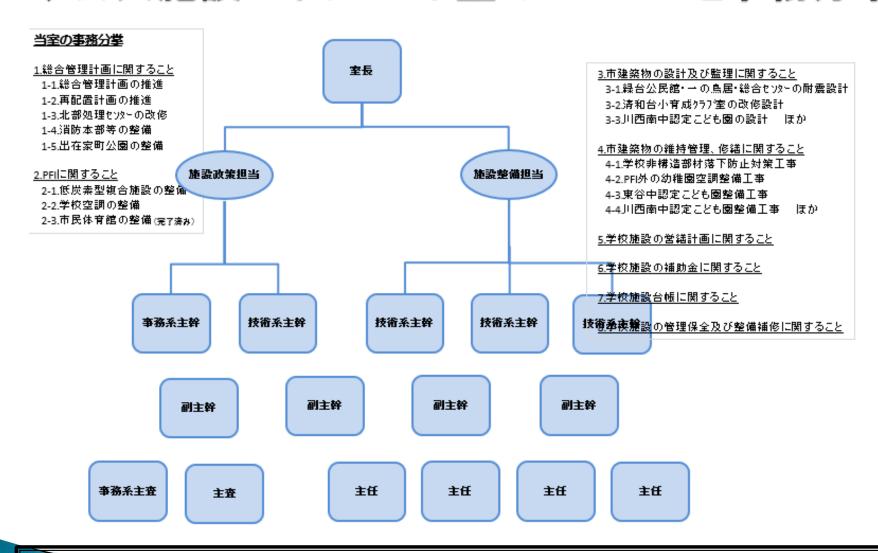
(2)-1建築関連組織の図(平成29年度)



(2)-2

川西市における建築関連部署の グループ制導入について

◇公共施設マネジメント室のメンバーと事務分掌

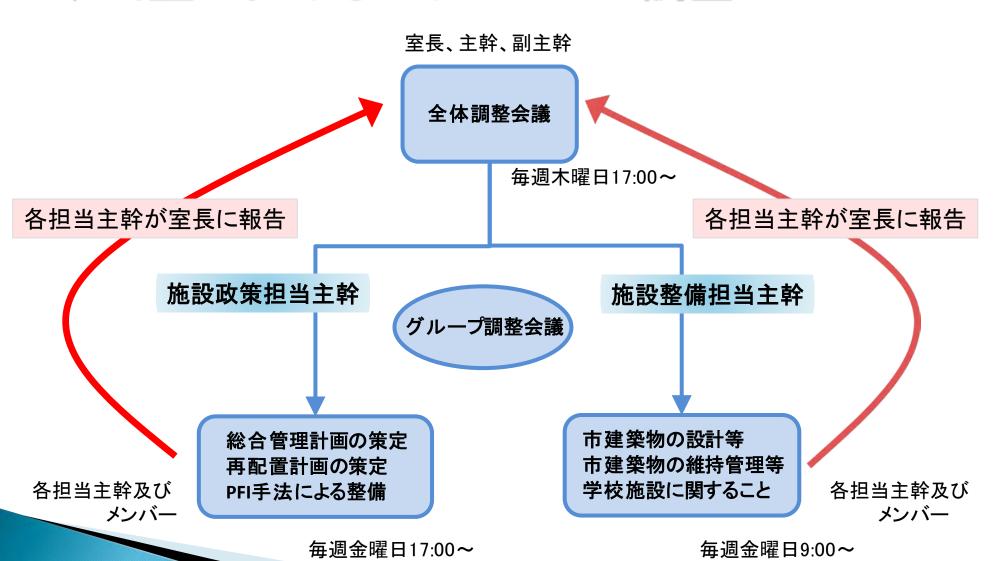


PFI事業や公共施設の再配置などを行う施設政策担当と営繕業務及び学校施設の維持管理業務を行う施設整備担当に分け、そればかに担当主幹を配置し、それ以下の職員については、政策、整備に分けずに配分しています。

◇当室の事務分掌と担当メンバー



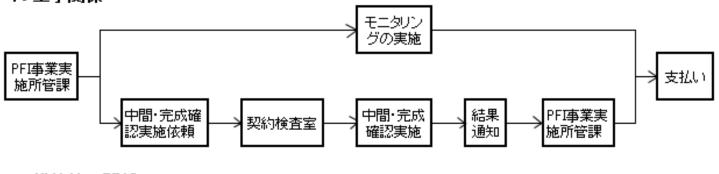
◇当室におけるスケジュール調整



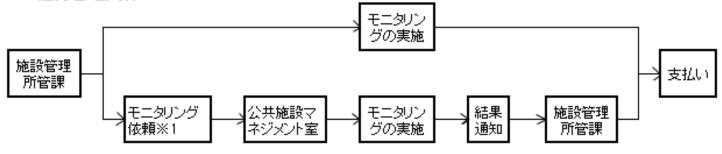
◇モニタリングの実施体制

【業務フロー】

1. 工事関係



2. 維持管理関係



※1 技術的なモニタリング事項があり、施設所管課に技術職員がいない場合

3. 運営関係



(3)PFI手法導入の具体的なメリット

効 果	内容
事業者からのVE提案に よる機能向上	学校耐震化PFIにおいては事業者からのVE提案により、PSCに含まれていない 空調設備及びエレベーターの設置が実現し、児童の教育環境の向上となる。 また、空調設備については、高断熱複層ガラス等による校舎断熱を組み合わ せることにより、1ランク下の能力の機器を採用することにより省エネを実現
ノウハウを持つ企業によ る維持管理	市民体育館PFIではミズノ(株)というスポーツサービスに関する質の高いノウハ ウを持つ企業による維持管理運営を行うことにより、市民などの関心度を高まり、様々な教室開催など、利用者数の増加し、顧客満足度が上がっている。
短期間に小中学校等に 空調設備を整備	PFIで実施することにより、1事業者が全ての工事を実施することにより、同一の品質確保と同じ時期の夏休み期間内に全ての対象校に更新も含め、空調機器の設置を行うことが出来た。また今後の維持管理においても同一事業者が行うため、迅速な対応など効率的な対応が期待される。
長期的に事業者からの 協力が得られやすい	一般競争入札と違い、施工工事終了後も事業者との繋がりが続くため、施工後 のクレーム対応や国費等の事務作業の協力を得やすい。
市職員の新たなスキル アップ	一般競争入札が前提で進められていた事業が、PFIと言う新たな事業手法を導入することで、民間事業者と協業する性能発注を学び、その経験が今後の事業手法の選択等を行う上で生かされている。

(4)PFIにおける課題について

主な課題

1. 設計変更に伴う費用の調整対応

設計等に変更が生じた場合の価格交渉や事業費に変更が生じた場合、議会対応が必要となる。

2. 事業者にインセンティブを与え難い

管理・運営事業において、民間事業者が工夫等により市民満足度や施設利用者数の向上しても、それに対するリターンがないため、サービス対価以上のものが期待できない。

3. 適切なモニタリングの実施方法

より精度の高いモニタリングを実施するうえで、他市のモニタリング実施例などの情報が得にくい。

4. 地元企業の参加

地元企業の採用の義務付けについて、参加企業の理解を得にくいため、地元企業の参入が難い。

5. 入札の手続きにおける事業者の負担が大きい

提案書の作成等の費用が大きいため、落札できなかった場合のダメージが大きいため、事業参画のハードルが高い。

6. 代表企業の職種によって事業内容が大きく変わる

建設企業や金融企業が代表企業になる場合が多く。住民サービスで最も重要な運営企業がイニシアティブを取られていないケースが多い。

ご静聴、ありがとうございました。



お問い合わせ先 川西市公共施設マネジメント室 TEL072-740-3737 kawa0198@city.kawanishi.lg.jp